

読者の心を願って

一生学ぶ

私の週末はジョギングでスタート。四季を感じながらゆっくり走ると気持ちがリフレッシュします。先日、小走りの少し年を召された女性と一緒に、「走るのは気持ちいいですね」と声をかけられた。私も「お元気でですね」と言うと、「七十五歳です。毎日通勤で片道七キロほど走っているんです」。

途中まで三キロほど並走しながら会話しました。その方から「健康維持は自分が努力しないとね」、「年齢は自然とっていくけれど、気持ちは自分の意志で若くなれますよ」、「まだまだ知らないことがあって、一生学ぶな」といけませんね」と。走りながら息も切れましたが、とても大切な人生の生き方を教えて頂いた気持ちになりました。

常に向上心をもって日々精いっぱい生きる事が大切。悩んでマイナスに考えるのも自分、前向きに考え取り組むのも自分。この方のように一生学ぶ気持ちを持ち続けるようになれば、と感じた爽やかなジョギングでした。

no.528

喜びの タネまき 新聞

写真・市谷健 元氣のカタマリ



株式会社ダスキン社長

山村輝治

思いがけない人との再会で鮮やかによみがえる記憶。ちいさなフラッシュメモリを手渡されたみたいにして…。

「あの日、あの時」

絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一步二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆俣屋)、「森のくらし」(リヨン社)など。



瞬間、ズンッと重みが加わった。彼が墜ちたのは、手のひらににくい込んだザイルから容易に理解出来た。しばらくすると「もう、あかんわ!」足下から悲痛な声が聞こえた。耐えながら時計をのぞくと、1時間半も宙吊りになっていた。このまま夕暮れを迎えるのだろうか。友達や両親は、いまぼくが、こんなことになっていることを知ったら、何て言うだろう。霧に包まれてきたせいか、雲の上に浮かんでいるみたいだった…。無事に下山したときは、もうすっかり日が落ちていた。



昔話をしてコーヒーをもう一杯注文すると、「ご馳走させてください。お話を聞かせてもらった、マスターも往年のクライマーだったのだ。

れることはできない日になった。

当日の早朝、部員のSさんが「一緒に登らへん?」と声をかけてきた。気のいいSさんは丸々と豊かな体形。体を確保する綱のザイルを繋いだこともなく不安がよぎった。一緒に登ることは不測の事態が起きたら一蓮托生。行動と運命を同じにすることをさす。Sさんの憧れ、一ノ倉沢の大岩壁はK嬢が登ったところだった。

ぼくは腹を決めた。見上げる垂直は、ぼくたちを追い払うかのようにつらに覆いかぶさっている。Sさんは力まかせで、どこかきこえない。かなり疲労してきたかと思った

山岳クライマーの会の先輩が個展に来てくれた。三十年振りの突

然の再会。あまりのなつかしさに、近くの喫茶店に飛び込んだ。「みんな元気だよ」と聞いて妙にホッとした。ぼくは、入部後、ふたりの仲間を山で亡くしていた。そのうちのひとり、K嬢はクラブのマドンナ的な存在。18歳のぼくには姉さんだが、綺麗でまぶしいひとだった。

コーヒーを前に、谷川岳で墜落したK嬢の追悼山行をした時の話になった。ぼくにとつて、花を手向け、哀悼のために岩壁をよじ登ることは初めてだった。その日は、二重の意味で、三十年たつても忘

たたいて揚げて、サプライズ「鶏ささみせんべい」

鶏のささみさえあれば、あとは家にある材料で完成! ささみがパリパリとした揚げせんべいに簡単に早変わりしてビックリ。スナック菓子としてお子様に、お父さんにはビールのおつまみとして重宝する一品です。「これ、なあに? おいしい!」と言われる時が、作り手の満足の一瞬ですね。



お料理研究家 こいけりえ

おやつ時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



●作り方(3枚分) ●下準備 ●アレンジ

鶏ささみ3本は筋を取り除いて薄く開き、酒、しょう油各大さじ1で下味をつける。15分ほどで味が馴染んだら、キッチンペーパーでさっと水分を拭いて適量の片栗粉をそれぞれにまぶす。まな板やボードの上にラップを敷いてささみを置き、少し大きめに切ったラップをかぶせ、上から麺棒などでたたいて薄く広げる。ここで少し透けるくらいに薄くすると、揚げた時にパリの食感になります。

●揚げる 170℃に熱した揚げ油に、広げたささみを一枚ずつ入れてパリッとせんべい風に揚げる。ラップからはがしにくい時は、一旦冷凍庫で凍らせるとはがしやすくなります。同時に冷凍保存出来るので、まとめて作り置きし、急なお客様でもそのまま揚げればOK。うつつらキツネ色に揚げたら取り出し、揚げたてに塩少々をふって出来上がり。



鶏 さ さ み

みてもらおう!おー!



いっしょがいいね♪ 愛知県岡崎市 小林千枝子



日向ぼっこ 広島県呉市 道垣内光世



「レモン!すっぱ!」 三重県菰野町 大橋剛夫

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております! (詳細は7ページ)



出張教室には、どうぶつの制作用キットを使う。約20種類の、このキットを作るのが大変。

笑ってるカバなんてのもいいかも。貝はアサリ。



トンボの足など、細いものはウニのトゲ。これも大から小まで、たくさん揃えてある。



「タケノコ貝は見た瞬間、あ、これはキリンになるな」と閃いた。



創作は貝の下処理から。洗って干して、大きさごとに仕分け。中身の入ったものは取り出す。



ニワトリ。目はスガイ、羽はチリボタン。

貝のアーティスト
角田元さん

大人も子どもも楽しめる かいのどうぶつえん

チンパンジーは角田園長の分身。



神奈川県葉山町

海岸であつめた貝で
動物をつくって
毎週土曜日に
家の門のところの
「かいのどうぶつえん」と
名づけた
ショーウィンドウで
新作を発表。
どうぶつの
人なつっこい表情に
毎日歓声が
あがっています。



「いちばん苦労するのは目ですね。表情は目で決まります」目はスガイ。スガイとはサザエの小さいものの蓋だ。茹でて針の先で本体からほじり出す。小さな丸い瞳にしたいので、早春の海辺に出て、稚貝を拾う。

「貝拾いは、私の母が好きだったから」奥さんの憩さんは、絵や染色も勉強していた。角田元さんが、どうぶつ制作にのめりこんだのも、憩さんと一緒に海岸で貝拾いをしたのが、きっかけ。初めは貝を菓子箱に並べていたが、だんだん収集だけでは満足できなくなり、ついに貝で犬や猫や鳥を創作。最初は家族に「それ何？」と言われたが、めげずに動物を作り続けていく内に家族や親戚だけでなく、近所の人や友達からも褒められるほどになった。「今では食べるためだけでなく、貝を買っちゃう」と元さんは笑う。

創作のポリシーは、割らない。穴をあけない。着色しない。9割は近所で拾うが、インターネットなどで紹介されている「かいのどうぶつえん」を知って、奄美大島など県外から送ってくる方や、家で大切にしていた貝を持ってきてくれた方もいる。



「アサリやシジミは楽しい顔に向いてるんです」海のない県の子に作ってほしいと、最近はじめたシリーズ。

家の門にあるショーウィンドウの展示は訪ねた日で347回目。「あー！替わってるう！」と学校帰りの小学生や、ワンちゃんの散歩、幼稚園の子どもたちも来る。

「最初は動物だけだったんだけど、だんだんストーリーがあるものになって、今は絵本の物語シリーズです」と日々進化していく。

頼まれて、出張展示や教室も行う。今までに教えた人は、子どもから大人まで1500人。静岡や茨城など県外から頼まれることも多い。つくるコツは、楽しむことだ。慌てず、諦めず、ゆっくり。小学生は貝が接着するまで待てないので、3分間の砂時計を使ってもらっている。

「貝のアートは、自然にまかせる発想の豊かさがいい。特に、楽しいとか、ちょっとふざけたところがポイントですかね」園長の角田元さんが大切にしているのは、遊びごころ。遊びをせんとや生まれけむー平安時代の歌謡集『梁塵秘抄』、が元さんのテーマだ。

貝のアートを始めて10年。海辺に出て貝をひろう楽しみを、ここまで高めたのは日々の営み。継続できたのは、奥さんが関心を示したからだという。



フラミンゴ。脚と首はツノガイ、目はスガイ。

卒業式

愛媛県松山市 仲田真喜子

3月、この時期になると、私は娘の中学の卒業式を思い出して、つい涙腺がゆるくなる。中学校で不登校になった娘は、通っていた教育センターや中学校の先生達のお陰で、卒業式に参加できるまでになっていた。

卒業証書授与のとき、壇上には上がれず体育館後部に座っていた娘に、担任の先生が、体育館中に響き渡るほどの大声で娘の名前を呼んでくださった。式に参加されていた方々は、突然の大声に訳が分からなかっただろうが、母親の私には、単立つ娘へ、先生からのエールだと思われ、ハンカチでは足りないほど涙が溢れた。式の帰り道、娘は思いがけないことを言った。「中学終わりたいくないあい！」最後の数か月に凝縮されたい思い出が出来たのだろう。その言葉の重みに、友人や先生方に感謝した。今春、その娘はもうすぐ高校を卒業する。

——かややく青春は悲喜こもごも。

スロ?

長野県軽井沢町 大谷幸子

娘の携帯に電話をすると孫が出ました。「お母さんは?今どこ?」「ん!今、佐久だよ。」お母さんはどうしたの?」「孫はすかさずお店に入ったことを告げました。「お店?何てお店?」「孫は何かしら探している様子で、「スロ!」と返事。「えっ、スロ?よく見て読んでごらん。お店の名前?」「スロ!スロだよ!ばば、スロ!」と孫は繰り返すばかり。納得いかぬまま、電話を切りました。しばらくして娘から電話がかかってきたので、「ねえ、スロってお店どこにあるの?」と聞くと、娘はその場で大爆笑。「お母さん、スロじゃなくて入口だね。」この春、1年生になる孫の返答にズッコケるやら、可愛いやらの、ある日でした。

——思い出し笑いしやいますね。

妻へ

新潟県長岡市 斎藤恭二

新潟県はまたも大雪。先日は午後から猛吹雪となり、あたりは真っ白になりました。次の日の夕方、犬の散歩を済ませて夕食の準備をしていると、隣の高校生のお嬢さんが、「おとうさん、大丈夫?」と急に飛びこんで来ました。学校帰りに、私の家の灯りがついておらず、玄関前も除雪されていなかったため、心配して見に来てくれたのです。もう10年前になりませんが、亡き妻が家計簿のお金が合わないと思っていると、自分が貰ったお年玉を持ってきてくれました。その気持ちに妻は大感激。いつも仲良くしていたのを覚えています。「あなたのおかげで、皆さんのお世話になりながら、元気でいるよ!」夜、遺影の妻に報告しました。いつも微笑んでいる妻が、今日は少し頬を赤くして、いっそう嬉しそうに笑っているように見えました。お母さんありがとう。

——あたたかい心遣いに感謝。

私は時計職人

秋田県大館市 吉田一雄

『朝8時から夜8時まで年中無休で働き、どんなことがあっても、これを読めば頑張るぞの気持ちになる』昔から愛読している喜びのタネまき新聞に投稿したことがありました。あれから随分時がたち、私ももう80歳になりました。今もまだ時計職人として休まずに働いています。3年前に50年連れそった女房を亡くしましたが、他の家族は健在です。若い時から仕事の合間に野球の審判と8ミリ劇映画フィルムの収集をしていました。60歳で脳梗塞をわずらい、野球の審判員は引退したけれど、女房のおかげで全快して、フィルムの収集は継続。上映会は300回をこえました。今は息子夫婦と同居していて、店まで自転車10分、徒歩で25分。元気です!

——職人さんとしての腕と時を刻むお仕事ですね。

風船

茨城県小美玉市 池田幸子

7年前の話です。東京のとある幼稚園の卒園式で飛ばしたあさがおの種付きの風船が、茨城の我が家の庭にわれて落ちました。その風船が縁で始まった文通は今日も続いています。お相手は、私の孫のような、なつきちゃんです。一昨年の震災の時には、なつきちゃんの家族から生活用品が入った大きな宅急便が届きました。自分たちのことだけでも大変な時に、会ったこともない私たちに親切にしてくれるなんて…と主人と二人で感激して、涙しました。大きな荷物には、その大きさ以上に、なつきちゃんとご両親の真心がこもっていました。この優しさは忘れません。いつか、お会いできる日を楽しみにしています。

——風に飛びまわったまじろ…。

ラブレター

愛知県豊川市 石黒道子

卒園間近のある日、年長組の女の子から「はい、てがみ!」と言って封筒を渡された。「せんせいだいすきだよ。あいしてる。ようふくもかわいいよ。ずぼんもかわいいよ!」手紙と一緒に赤いハートの髪止めをつけた女の子の絵も添えられており、別れの季節に少々センチメンタルになった。若い同僚と同じように、動物たちのアップリケの付いたエプロンを着た60代の私。皆から好評だった。それにしても「あいしてる」なんて今どきの子らしい。その子は入園当初、なかなか園に馴染めず毎朝大泣きしていたが、今では年下の子の面倒をよく見るお姉さんに成長していた。私も幸せな気持ちでお礼の手紙を書いた。

——あいつらで言われたら、幸せ!

午後うたた寝



秋田市 榎治子

愛のまち
ああ あこがれの愛のまち
みどりの山のそよかぜが
静かにほほを なせてゆく
神につかえた人達の
愛の祈りがここにある

ああ 美しい愛のまち
だれが植えたか 赤い花
真夏の太陽に もえている
恋を語った人達の
文化のかおりがここにある
ああ 夢のまち愛のまち
若さあふれる にぎやかさ
歌と踊りに 夜がふける
庭では星をみつめてる
やさしい人が住んでいる

鈴木清一

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●送り先
〒163-0223
東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル23階(私書箱47号)
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03(5909)6703
e-mail:koho4@mail.duskin.co.jp

●4-5ページの「かいのどうぶつえん」の連絡先
電話:080-4292-6917(角田元さん)
e-mail:info@zoo-shell.com
ホームページ:http://www.zoo-shell.com/index.html

●4-5ページの「かいのどうぶつえん」の連絡先
電話:06-6821-5270 HP(http://www.ainowa.jp/)
愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修支援を行っています。

愛の輪

からのコラム
誰もが心地よい暮らしって?



第12回 スキーの楽しみ方が いく通りもあるって知っていますか?

ウィンタースポーツの代表“スキー”を様々な方法で楽しむ障がいのある人が増えています。例えば…座位に板を取りつけ滑走するチェアスキーや、視覚に障がいのある人を一緒に滑る伴走者が音や声で安全な方向へ誘導するブラインドスキーなど。スポーツに限らず「障がいがあるからできない」ではなく「どうすればできるか」「どうすれば楽しめるか」を健常者も共に考え工夫すれば、もっと楽しみが広がります。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎06-6821-5270 HP(http://www.ainowa.jp/)
愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修支援を行っています。

心つながる、やさしい明日へ。
50th
Anniversary

記念のロゴマークも
あちこちにお目見えます

春からのダスキンは お楽しみがいっぱい!

今年11月、ダスキンは50歳の誕生日を迎えます。4月から、50周年謝恩キャンペーンや記念サイトのオープンなど、お客様への感謝の企画が盛りだくさん。『喜びのタネまき新聞』のこのページも楽しくリニューアルしますので、どうぞお楽しみに!

プレゼント情報が
満載の
『ありがとう新聞』発刊

特設サイト
でもプレゼント
情報発信!



この『喜びのタネまき新聞』
裏表紙でも懐かしい商品や
ナルホド話をご紹介

ダスキン
ホームページ内に
50年の歩みが分かる
記念サイトが
OPEN!



今号のキーワード

「ダスキン50歳」

ハガキに書いてご応募ください!

正解者の中から30名様に
「住まいのバラエティセット」を
プレゼント!



下記の要領でご応募ください。

- ハガキに
 - ①今号のキーワード ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
 - ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名
 - ⑨この新聞内で好きなコーナー ⑩ダスキンとの印象深い思い出をご記入の上、下記あて先までお送りください。
- 応募専用のあて先 ※郵便番号とあて先のみで届きます。
〒163-0265 住所は不要です。
(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.528」プレゼント係
- 締め切り 平成25年4月19日(金)当日消印有効
- ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
- 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成25年5月上旬お届け予定)
- 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703
※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。

今回ご応募いただいた個人情報は、(株)ダスキンにおいてプレゼントの抽選や賞品の発送に利用させていただきます。ご記入いただいたコメントに関しては、弊社ホームページ「ダスキン50周年記念ページ」上にて掲載させていただく場合がございます。掲載内容(コメント、都道府県、性別、年齢(但し、掲載させていただく際に、コメントの文意を変えない範囲で編集をする場合がございます)。個人情報に関するお問い合わせやご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係(TEL:03-5909-6703)までご連絡ください。

no.526のクイズの答えは「1500(トン)」でした。

ダスキンのお客様係募集中!!

詳しくはwebで

お客様係

検索



携帯からも
アクセス

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集部

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。

個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp